

## 独立行政法人日本原子力研究開発機構の中期目標対照表

中 期 目 標（ 変 更 前 ）	中 期 目 標（ 変 更 後 ）
<p>Ⅱ．国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>1. エネルギーの安定供給と地球環境問題の同時解決を目指した原子力システムの研究開発</p> <p>(1) 高速増殖炉サイクル技術の確立に向けた研究開発  高速増殖炉サイクルは、軽水炉サイクルに比べウラン資源の大幅な有効活用を可能とし、長期的なエネルギー安定供給に貢献できる可能性を有するものである。このため、その実用化に向けた研究開発を推進する。</p> <p>1) 高速増殖炉サイクル実用化戦略調査研究  高速増殖炉サイクルの商業ベースでの導入に至るまでの研究開発計画の検討に資するため、高速増殖炉サイクル技術の実用化像の構築に向けた調査研究を、国の定める方針にのっとり実施する。</p> <p>2) 高速増殖炉原型炉「もんじゅ」における研究開発  高速増殖炉の実用化に向けた研究開発の場の中核である高速増殖原型炉「もんじゅ」については、その開発の所期の目的である「発電プラントとしての信頼性の実証」及び「ナトリウム取扱い技術の確立」の達成に向けて、高速増殖原型炉「もんじゅ」の運転を再開し、100%出力運転を達成する。</p>	<p>Ⅱ．国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>1. エネルギーの安定供給と地球環境問題の同時解決を目指した原子力システムの研究開発</p> <p>(1) 高速増殖炉サイクル技術の確立に向けた研究開発  高速増殖炉サイクルは、軽水炉サイクルに比べウラン資源の大幅な有効活用を可能とし、長期的なエネルギー安定供給に貢献できる可能性を有するものである。このため、その実用化に向けた研究開発を推進する。</p> <p>1) 高速増殖炉サイクルの実用化戦略調査研究開発  高速増殖炉サイクルの商業ベースでの導入に至るまでの研究開発計画の検討に資するため、高速増殖炉サイクル技術の実用化像の構築に向けた調査研究を行うとともに、その成果を踏まえた実用化研究開発を、国の定める方針にのっとり実施する。</p> <p>2) 高速増殖炉原型炉「もんじゅ」における研究開発  高速増殖炉の実用化に向けた研究開発の場の中核である高速増殖原型炉「もんじゅ」については、その開発の所期の目的である「発電プラントとしての信頼性の実証」及び「ナトリウム取扱い技術の確立」の達成に向けて、高速増殖原型炉「もんじゅ」の運転を再開し、100%出力運転を達成するに向けて出力段階に応じた性能試験を進める。</p>